

北海道初の菓子用秋まき小麦

新品種



一般社団法人
北海道農産協会
Hokkaido Agricultural Association

執筆者：道総研 北見農業試験場研究部麦類畑作グループ
主査(麦類) 大西 志全

ホームページでもご覧になれます。
一般社団法人 北海道農産協会 <https://hokkaido-nosan.or.jp>
(2020年5月 小麦NO4)

北海道・道総研・ホクレン・北集・北海道農産協会

このパンフレットは、生産者拠出(北海道産麦生産流通安定対策事業)を財源に作成しています



新品種 北海道初の菓子用秋まき小麦

北見95号とは？

「北見95号」は2020年2月に優良品種に認定された、北海道で初めての菓子用秋まき小麦品種です。薄力でスポンジケーキやクッキーなどの菓子に向くことから、道内のおみやげ用菓子での使用など今後の需要拡大が期待されています。また、農業特性は「きたほなみ」に近く、北海道で栽培しやすい品種です。

交配組み合わせ

優れた農業特性は父親の「きたほなみ」から、薄力で菓子に向く特性は母親の「北系1840」から引き継ぎました(表1)。また、母親の「北系1840」の菓子適性は、海外の菓子用小麦であるクラブ小麦に由来しています。

表1:「北見95号」の両親とその特性

	品種・系統名	特性
母親	北系1840	菓子適性が優れる母本
父親	きたほなみ	日本麺用の基幹品種

農業特性

「北見95号」は、「きたほなみ」より稈長がやや短く、株が閉じたコンパクトな草姿をしています(写真1、写真2、表2)。また、出穂期、成熟期は「きたほなみ」と同等で、収量性や病害・障害抵抗性も「きたほなみ」並に優れます(表2、表3)。

品質の特徴

スポンジケーキにした場合、体積が大きく(写真3)、食べたときの口溶けが優れます。クッキーはクリスピーで軽い食感のクッキーになります。現在、道産小麦の中では、うどん用の「きたほなみ」が菓子用に使われていますが、菓子適性の優れる「北見95号」が品種となったことで、今後の道産小麦の菓子用への需要が拡大することが期待されています。

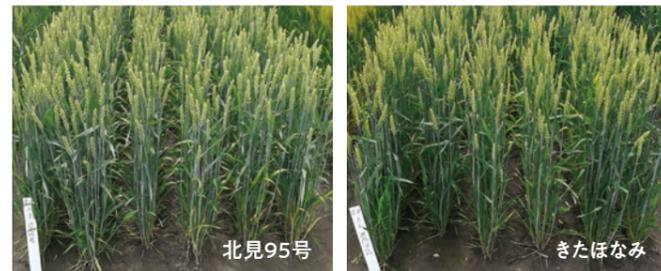


写真1:登熟期間中の様子
「北見95号」はややコンパクトで畦間が見えやすい。

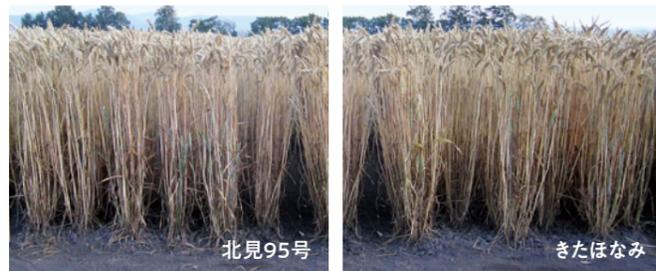


写真2:成熟期の様子
「北見95号」はやや短稈で株が閉じる。

表3:「北見95号」の病害および障害抵抗性

品種名	耐倒伏性	耐雪性	うどんこ病	赤さび病	赤かび病	縮萎縮病	穂発芽性
北見95号	強	やや強	強	強	中	やや弱	やや難
きたほなみ	強	やや強	やや強	中	中	やや弱	やや難

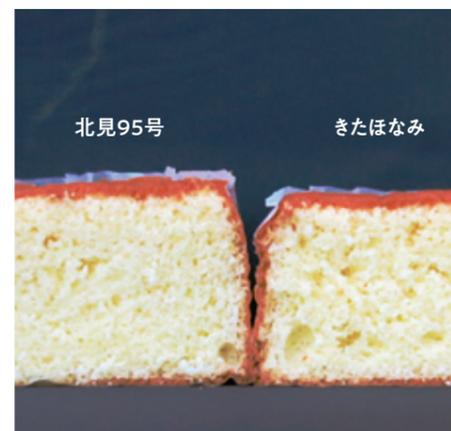


写真3:スポンジケーキの断面図
「北見95号」のスポンジケーキは体積が大きく、断面のキメが細かい。

表2:「北見95号」の生育、収量、品質特性

試験場所	北見農試(育成地)		中央・上川・十勝農試		現地試験(のべ40力所)	
	北見95号	きたほなみ	北見95号	きたほなみ	北見95号	きたほなみ
播種年度	2016~2018年度		2016~2018年度		2017~2018年度	
品種名	北見95号	きたほなみ	北見95号	きたほなみ	北見95号	きたほなみ
出穂期(月日)	6/7	6/6	6/3	6/2	6/5	6/4
成熟期(月日)	7/28	7/27	7/20	7/20	7/24	7/23
稈長(cm)	79	82	77	80	74	76
穂長(cm)	8.3	8.6	8.6	8.7	8.4	8.6
穂数(本/m ²)	760	697	619	627	677	643
倒伏程度(無0~甚5)	0.0	0.1	0.0	0.1	0.3	0.5
赤かび粒率(%)	0.00	0.00	0.15	0.21	0.25	0.12
子実重(kg/10a)	950	909	650	654	673	638
同「きたほなみ」比(%)	105	100	99	100	105	100
容積重(g/l)	840	848	835	843	819	824
千粒重(g)	42.8	42.6	41.3	41.0	40.5	39.6
原粒蛋白質含量(%)	10.4	10.3	10.0	9.7	11.7	11.7
原粒灰分含量(%)	1.32	1.25	1.40	1.35	-	-

注1) 現地試験の容積重は赤さび病の多発事例を除く。

栽培のポイントと注意点

- 赤かび病抵抗性は「きたほなみ」と同じ「中」ですが、赤かび病の発生が「きたほなみ」より多かった事例があるので、適切に防除を行ってください。
- 茎数の推移など栽培上重要な特性は「きたほなみ」に近いことから、栽培管理は「きたほなみ」と同じように行ってください。ただし、菓子用の小麦は高タンパク含量になってしまうと菓子適性が劣ることから、過剰な追肥は避けてください。

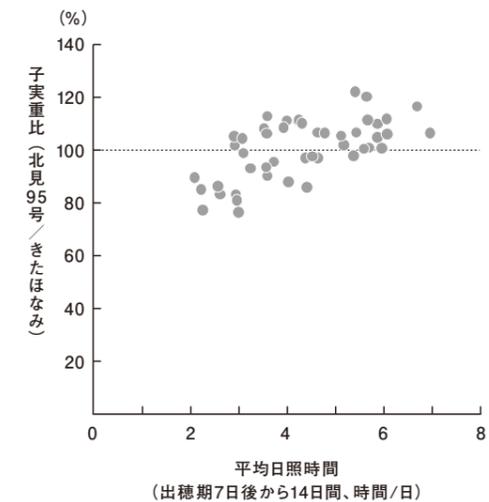


図1:「北見95号」の子実重と日照時間の関係
開花期ごろの日照時間が少ないと、「北見95号」は「きたほなみ」より低収になりやすい。

注意点

- 粒の外観や充実度は「きたほなみ」並に優れますが、容積重がやや軽い特性があります(表2)。
- 収量性は「きたほなみ」並に優れますが、開花期ごろの日照が極端に少ない事例では低収となる傾向があります(図1)。